

授業概要

生活習慣病が死因の上位を占める中、毎日のライフスタイルそのものが病気の原因や予防に深く関わっていることが次第に明らかにされつつある。急成長する健康ビジネスの実態について講義し、良質な健康ビジネスの発展は、世界中の人々を健康に導くことができることについても理解を深められるよう講義する。また、WHO の健康の定義を踏まえ、身体、精神、社会、スピリチュアルの各視点からのビジネスについて、周辺分野も含めて講義する。今後益々セルフケアやセルフメディケーションの促進が重要となることとビジネスとの関係についても講義する。

授業計画

| | |
|--------|---------------------------------|
| 第 1 回 | 健康ビジネスとは？ 健康増進法 |
| 第 2 回 | ヘルスプロモーション、パブリック・ヘルスとの関係 |
| 第 3 回 | セルフケア、セルフメディケーション時代への突入 |
| 第 4 回 | 衣・食・住のすべてに関連する健康ビジネス |
| 第 5 回 | 食、運動、休養・睡眠 |
| 第 6 回 | 五感に働きかける健康ビジネス |
| 第 7 回 | 人間関係と健康ビジネス—ストレス・コーピング、マインドフルネス |
| 第 8 回 | フード・ビジネス①和食のグローバル化、メディカル・ハーブ 等 |
| 第 9 回 | フード・ビジネス②トクホと栄養機能食品、サプリメント 等 |
| 第 10 回 | フィットネス・ビジネス |
| 第 11 回 | ヒーリング・ビジネス、リラクゼーション・ビジネス |
| 第 12 回 | アミューズメント・レクリエーションビジネス |
| 第 13 回 | 生活関連（日用品・衛生用品）ビジネス |
| 第 14 回 | アンチエイジング・ビジネス、介護予防 |
| 第 15 回 | グローバル・ヘルス・ビジネス—健康ビジネスの未来 |
| 第 16 回 | 試験 |

到達目標

- 1.健康ビジネスの範囲と内容について説明できる。
- 2.なぜ、今健康ビジネスが求められているかについて理解を深めることができる。
- 3.時代のニーズに合った新たな健康ビジネスについて考えることができる。
- 4.セルフケアやセルフメディケーションについて理解する。

履修上の注意

特になし。

予習・復習

各単元について事前にしっかりと読んで予習し、テーマごとに復習してください。

評価方法

授業内レポート 30%、学期末試験 70%

テキスト

- ・教科書名：『グローバル・ヘルス・ビジネス』
- ・著者名：一戸 真子
- ・出版社名：日本経済評論社